



みんなで力を合わせて「ふいひ」とり!!

(特非) 隠岐しぜんむら

持続可能な島を目指し、 次世代育成のための 島まるごと環境教育

入門助成

1年目

実践

自然体験教室
開催数

136回

自然体験教室
のべ参加者数

864人

活動の全体目標に
対する達成度

70%

課題

海士町は、海や山が身近にあり自然環境に恵まれていながらも、島の子どもたちは自然の中で遊ぶ機会が少なく、自然の中で活動しにくくなっている現状がある。

目標

地域づくり計画の中に、自然の中で行う環境教育が位置付けられ、行政・既存保育園・保護者との環境教育における連携体制を整える。また、地域のイベント等の中で活動報告を行い、理解と啓発を行う。

活動内容

満3歳から小学校就学前の子どもたちを対象とした、森のようちえん形式を取り入れた「お山の教室」を毎月週3回、平日参加の難しい幼児・保護者を対象に、体験イベントを開催した。教育委員会や各地区の公民館と連携し、理解を得ることで既存保育園や町の教育関係者とつながることができた。活動報告については、毎月の様子を通信にて発行し、お店や各施設・町のイベントなどで掲示し、地域住民への理解を求めた。



親子イベント開催！
親子で木登りしたよ～

達成できなかったこと

幼児対象の活動を毎週3回の開催で行ったが、参加者数が予定より下回ることがあった。既存保育園との併用から生じる金銭面や幼児心理面への問題が原因としてあげられる。

今後の展望

教育関係者や地域住民が活動を通し環境教育への理解を深め、より多くの幼児が原体験できるようにする。

成果と工夫した ポイント



成果

通年の参加者のアンケート:自然の知識向上87%、自然との関わりが増加93%。教室への参加回数が多いほど、自然の知識や関心だけでなく、身心の成長でも成果が高かった。(ボランティア参加延べ22名)

工夫

町のコミュニティチャンネルやブログなどを通した広報を高め、地域住民との関わりを大事に理解を深めた。